

扉

TOBIRA

お坊さんのおすすめのお店



NO.

12

2025

summer

長岡市与板町与板乙3620143



「器具ではなく豆でほぼ味は決まります」と教えてくれたのは中村焙煎人。そして淹れてくれたコーヒーは本当に美味しかった。

「焙煎する前の生豆が完成系」と語るのには年に数回産地に向き、土や水、太陽や風、何より生産者の努力を生で感じてきた経験があつてこそその言葉だろう。「焙煎人はほんの少し手を添えるだけ」という姿勢も素敵だ。そして、バリスタのあやこさんが手書きするチラシも楽しみの一つ。デジタルに忘れさせられた温かさを思い出させてくれる。



推薦人

Sanpo

三条市元町9-4 4



三条市立図書館にほど近い路地裏のお店です。手作りの可愛い看板を愛でつつ、レトロな引き戸を開けると店主が穏やかに迎えてくれます。靴下メインの雑貨屋さんで、棚にはカラフルで个性的な柄の靴下やクラシッくな柄の靴下がたくさん。近所さんでもある店主とお話ししながら靴下を選ぶ時間はとても豊かな時間だなと感じます。Sanpoさんで購入した和柄の靴下がお気に入りです。お参りにも履いていきます。

徳誓寺 福井

小森豆腐店

新潟市中央区本町通12番町274611

本町商店街にある小森豆腐店は、昔ながらの手作り豆腐が自慢のお店。大豆の風味豊かな豆腐は絶品です。絹ごし、木綿、おぼろ豆腐とバリエーション豊かでどれにしようか迷ってしまいます。豆腐の他にもジューシーな厚揚げやどこか懐かしい味わいのひじき煮や干し大根などのお惣菜も魅力的です。中でも豆乳を使ったソフトクリームは大人気です。大豆の優しい甘みを感じられて、地元の幅広い世代に愛されています。

願随寺 河合(弟)

推薦人



Sanpo 店主



清伝寺 古谷



焼肉ハウス柳月

新潟市東区物見山3-1-9



私のお気に入りの焼肉ハウス柳月をご紹介させて頂きます。
私が初めて柳月さんに行ったのは小学校のときだと記憶しているのですが、もう20年以上の行きつけのお店です。出される各種のお肉は質、味、肉の厚さどれをとっても格別です。私のおすすめはタン塩、カルビ、上ミノなのですが、お肉以外でもテールスープは本当に絶品です。どのメニューも美味しいので行かれた際はぜひみなさんのおすすめを見つけてみてください。
願徳寺 河合(兄)



45°

新潟市西区黒鳥5004-11



黒鳥の森の中に、ひっそりと佇むチーズケーキ屋さんがあります。いろいろな味のベイクドチーズケーキやバスケットチーズケーキに悩みつつも、一際目を引く季節のチーズケーキに決定！今の季節はなんとトマトのベイクドチーズケーキで、これがまたとても美味しい。ホットコーヒーと合わせるのもいいし、暑い日には「エチオピア」とニックというアイスコーヒーソーダも爽快です。自然に包まれないながら、至福のひとつを堪能できますよ。
威徳寺 源川



ラーメンやまだ

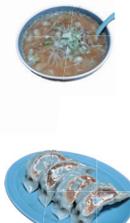
西蒲原郡弥彦村大字弥彦1222-11

弥彦神社のすぐ近くにあるラーメン屋さん。赤い暖簾をくぐるとカウンタートと小上がりが見える。ラーメンがメインだが一品料理やお酒の提供もあり、お一人でも仲間連れでも、多くの方に親しまれている。弥彦村民には二次会の定番のお店。飲んだ後のメに合う味噌ラーメンや、厚みのある豚肉を使った豚キムチ、ボリユーム満点の大ぶりな餃子、烏ブツの唐揚げなど、どれも頼んでも満足いくおいしいお店です。

広福寺 柏原



店主



焼き芋屋ぴーす

燕市新堀2294-13

ほっこりあたたかくて甘い焼き芋のお店です。さつまいもは、収穫してから熟成庫で3か月以上寝かせてから焼いているので、蜜がたっぷりできるとろけるような甘さ。数種類の芋が並び、試食しながらの食べ比べも楽しめます。敷地内にはヤギがいてエサやり体験ができたり、蓮池をのんびりお散歩できたり、モンゴルのゲルでちょっとひと休み...と、あそび心もたっぷり。秋には芋掘りイベントをするなど、地域に寄り添うやさしいお店です。

大蓮寺 鷺澤

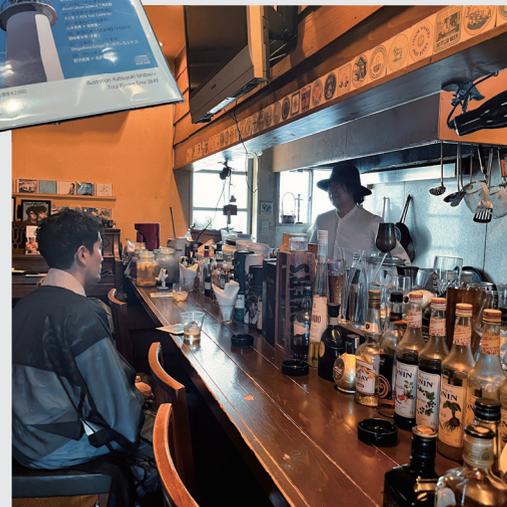


noanoa

燕市吉田大保町12-73

一杯のカクテルに込められたのは、緻密に計算された配合とほんの少しの遊び心。そんなこだわりの一杯を味わいながら、物知りで話好きなマスターとの会話はいつい時間忘れてしまう。店内では定期的にライブ演奏も行われていて、心地よい音楽が流れる夜はいつもより少し、特別。な気分。静かに佇むこのバーは、日々の喧嘩を離れて肩の力を抜いて過ごせる、大人の隠れ家のような場所です。

法圓寺 梨本



店主



推薦人

『じつは身近な仏教用語』

「他力本願」って、どこかで聞いたことありませんか？

日常の会話では、「あの人って他力本願で、自分では何もしないよね」なんて、ちよつとネガティブな意味で使われることが多いかもしれません。

でも、本当はこの言葉、仏教の教えが元となっている言葉なんです！そのもともとの使われ方は

「阿弥陀仏のはたらき（他力）によって私たちが救われることを、阿弥陀仏ご自身が願ってくださっている（本願）」

というもので、つまり「他力本願」とは、私たちの姿勢や性格のことを指すのではなく、仏さまの慈しみの心をあらわしたありがたい仏教の言葉だったのですね！

佛光寺派新潟教区 HP



<https://www.niigatakyoku.com>



Instagram もやっています